

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 13 号	平成30年9月18日	伊予市役所	教育委員会事務局学校教育課
題 目（テーマ）：「学校図書支援員」の配置について			
提 案 内 容（要旨）			
<p>松山市では平成12年から全ての小中学校に「学校図書館運営支援員」が配置されており、学校図書の充実、図書施設の活用とともに子供の読書活動の推進に大きく関わっています。</p> <p>一方、郡中小学校では図書担当の先生は学級担任との兼務で手一杯なのが実情であり、県下最多の児童数を誇る学校のせっかくの図書施設が活用されているとは言い切れないところです。図書ボランティア活動の核となる人材の確保と学校図書現場の充実、その両方を活かすため、郡中小学校にも「学校図書支援員」を取り入れてほしいと考えています。</p>			
回 答 内 容			
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>また、図書ボランティアとして学校運営にご協力をいただいておりますこと、お礼申し上げます。</p> <p>学校図書館につきましては、司書教諭や図書館担当教諭を中心として運営・管理を行っており、ご意見にもありますように学級担任もその役割を担っています。</p> <p>大規模校では、授業に支障のないよう司書教諭の支援を行っているところもありますが、多忙であることは認識しています。</p> <p>ご提案の学校図書支援員につきましては、学校図書館の活用・充実にとっては有効な手段であることは理解いたします。</p> <p>ただ、この制度は、県下自治体の中で松山市と新居浜市で実施されておりますが、それ以外に定着していない状況であり、その理由は財政上の問題があると判断されます。</p> <p>本市におきましても全く同じ理由であり、その点をご理解いただけるものと存じます。</p> <p>このもとで、「伊予市子ども読書活動推進計画」にもありますように、ボランティアによる支援を一層呼びかけてまいりたいと思います。</p> <p>今回いただきましたご意見は、今後の課題とさせていただきたいと思いますので、引き続きご協力をいただきますようお願いいたします。</p>			